

『現代の倫理 改訂版』（倫理309）おもな改訂箇所

ページ	内容
口絵3	善きサマリア人」（ゴッホ作）を取り上げた
口絵4	「初転法輪像」を取り上げた
8	アリエスと「子どもの誕生」について取り上げた
9	フロイトをコラムで取り上げた
11	で
13	ユングの説明で「個人的無意識」「集合的無意識」「元型」などを取り上げた
16	「やまあらしのジレンマ」を取り上げた
28	ベルクソン、ホイジンガの人名を取り上げた
30	ソクラテスの説明で、カロカガティア（善美のことがら）を取り上げた
33	プラトンの『パイドロス』より、「二頭立ての馬車」を取り上げた
35	プロティノスと新プラトン主義を取り上げた
40	諸子百家の表組みに必要な用語を足して充実させた
40	儒教と儒学の間係をわかりやすく書き改めた
47	老子で「大道廢れて仁義あり」のことばを取り上げた
48	老子で「胡蝶の夢」について説明を足した
48	莊子で真人、心齋坐忘のことばを取り上げた
52	キリスト教で、イスラエル人とユダヤ人の関係について丁寧に説明をした
56	キリスト教で、『イーデンハイム祭壇図』とその解説を取り上げた
59	トマス＝アクィナスで、「二重真理論」を取り上げた
61	イスラーム教で、「イスラーム教の掟と習慣」のコラムを充実させた
72	「日本人の宗教観」について、『古事記』『日本書紀』を取り上げて書き改めた
73	「日本人の人間観・道徳観」について書き改めた
76	「奈良仏教」で、戒壇、私度僧などのことばを用いて書き改めた
84	鎌倉仏教の新たな動向で、明恵や叡尊、忍性などを取り上げて書き改めた
86	江戸の儒学者で、貝原益軒を取り上げた
89	「士道と武士道」のコラムを新たに取り上げた
92	江戸の思想家で、鈴木正三を取り上げた
95	幕末の思想で、三浦梅園を取り上げた
98	近世の芸術で、井原西鶴を取り上げた
102	日本の近代の思想家で、志賀重昂を取り上げた
106	夏目漱石で、内発的開化を取り上げた
123	マックス＝ウェーバーで、官僚制について説明した
128	ロックで、タブラ＝ラサを取り上げた
132	ホッブズのことばとして「人間は人間に対して狼である」を取り上げた
133	ロックのことばとして「法の終わるところ、専制がはじまる」を取り上げた
136	カントで、コペルニクスの転回のことばを取り上げた
141	ヘーゲルで、「人倫の発展」の図を取り上げた
146	ロールズで、無知のヴェール、原初状態のことばを取り上げて書き改めた
150	ミルで、他者危害の原則を取り上げて書き改めた
157	ヤスバースの説明をわかりやすく書き改めた
157	ハイデッガーで、被投性のことばを取り上げて書き改めた
168	フランクフルト学派で、啓蒙の弁証法のことばを取り上げて書き改めた
171	フーコーで、知の考古学のことば取り上げて書き改めた
184	環境問題で、国際社会の取り組みについて書き改めた